



No.001

経営者様用 アンケート

ご協力をお願い（令和7年度 北九州市働く女性の健康づくり実態調査）

皆様には、日頃より北九州市政にご理解とご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

このたび北九州市では、女性の健康に配慮した職場環境の推進に対する経営者の方々の認識および女性社員における健康への関心やニーズを把握するために、①市内の事業場の経営者と②女性社員（各社3名）を対象にアンケート調査を実施することとなりました。（アンケートは2種類あります）

つきましては、経営者様に本アンケートにご回答いただくとともに、貴事業所の女性社員（3名）の方に女性社員様用アンケート（インターネット回答）3枚をご案内いただき、回答へのご協力を賜りますようお願いいたします。

なお、この調査票は、市内民営事業所のうち従業員数が50人未満の事業所から無作為に抽出された500事業所に送付させていただいております。この抽出につきましては、令和3年次データを利用していますので、事業所名称等が、現状と異なる場合があるかと思いますが、ご容赦ください。

ご回答いただいた内容は、統計的に処理を行い、個々の事業所の経営者及び女性社員の方々の意見を参考に、女性にやさしい社会づくりを推進するための啓発資料（冊子）を制作いたします。

調査の趣旨をご理解いただき、ぜひご協力いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

（所要時間は、経営者様用10分程度、女性社員様用15分程度です）

北九州市長 武内和久

ご記入にあたって

- この調査は令和7年6月1日現在でお答えください。
- パソコンやタブレット端末、スマートフォン等で回答される場合は次ページに記載する要領で回答してください。
- 回答方法は、予め用意してある項目から該当するものを選び、番号等に○を付けるものと、数値を記入するものがあります。また、回答数が複数になってもかまわない間については、その旨を記入しています。
- この調査の「従業員」には、取締役等の役員は含めないで下さい。
- ご記入済みの調査票は同封の返信用封筒（切手不要）に入れ、令和7年6月30日(月)まで（当日消印有効）にご投函願います。
- 本調査の実施は、総合広告代理店である株式会社 朝日広告社へ委託しております。
- ご記入にあたり、ご不明な点がございましたら次ページ記載の窓口までお問合せください。

実施主体：北九州市保健福祉局健康推進課（北九州市小倉北区城内1-1）

【調査に関するお問い合わせ（オンライン回答以外）】
株式会社 朝日広告社（担当：坂口、野原）
電話：093-482-2220
（受付時間：平日午前10時から午後5時まで）

【オンライン回答に関するお問い合わせ先】
北九州市保健福祉局健康推進課（担当：橋本、久保）
電話：093-582-2018
（受付時間：平日午前10時から午後5時まで）

スマートフォン、タブレット、パソコンからインターネットで回答する方へ

●スマートフォン、タブレットの場合

右の二次元バーコードからアクセスしてください。



●パソコンの場合

北九州市ホームページより、> 市政情報 > 計画・条例・選挙・人権 > 構想・計画 > 各種指針・計画 > 健康づくり・食育 > 「令和7年度 北九州市働く女性の健康づくり実態調査」

女性 健康づくり 実態調査

検索

市ホームページ https://www.city.kitakyushu.lg.jp/contents/17200536_00001.html

1. 代表者の方もしくは総務を担当する方がお答えください。
2. **前ページの右上の番号（数字3桁）**を一番初めに入力（必須）して回答してください。
※右上の番号は、郵送との重複回答を防ぐために無作為に振られた番号です。個人を特定する番号ではございません。
3. ご回答は、**令和7年6月30日（月）23時59分まで**にお願いいたします。
4. インターネットで回答された場合は調査票（紙）を郵送していただく必要はありません。
5. その他注意事項
 - ・通信にかかる費用は回答事業所様のご負担となります。
 - ・通信状況の良い環境で入力・回答してください。回答中の一時保存はできません。
 - ・最終ページの「送信する」ボタンを押すと回答が完了します。

回答開始画面

令和7年度 北九州市働く女性の健康づくり
実態調査（経営者版）

3.0の質問

初回訪問 ☐ をお読みの上お読みして、回答を開始してください。

☒ 利用規約に同意する

☒ 初回訪問に同意する

回答を開始する

クリック

回答入力画面

令和7年度 北九州市働く女性の健康づくり実態調査（経営者版）

入力用画面

回答入力フォーム

調査票番号の入力

調査票右上の番号（数字3桁）を入力してください。

※郵送との重複回答を防ぐために無作為に振られた番号です。個人を特定する番号ではありません。

次へ進む

回答完了画面

送信する

回答を送信しました。



【貴事業所の業種・従業員数等について】※令和7年6月1日時点

問1. 業種は次のどれですか。複数にまたがる場合は、売上高等から主なものを1つ選んでください。

1.建設業	5.教育、学習支援	9.運輸業、郵便業
2.卸売業、小売業	6.その他サービス業	10.情報通信業
3.宿泊業、飲食サービス業	7.医療、福祉	11.製造業
4.不動産業、物品賃貸業	8.金融業、保険業	12 その他

問2. 貴社全体（本社・支社等を含める）従業員数は何名ですか。（回答は1つ）

1. 4人以下	3. 50～699人	5. 1,000人以上
2. 5～49人	4. 700～999人	

問3. 貴事業所の従業員数は何名ですか。（回答は1つ）

1. 10人以下	3. 21～49人
2. 11～20人	4. 50人以上

問4. 貴事業所の大まかな男女別割合をお知らせください。

例）男性（6割）、女性（4割）等

男性（ ）割	女性（ ）割
-----------------------------	-----------------------------

問5. 貴事業所の大まかな年代別割合をお知らせください。

例）10代（1割）、20代（2割）、30代（2割）、40代（2割）、50代（2割）、60代（1割）、70代以上（0割）

10代（ 割）	40代（ 割）	70代以上（ 割）
20代（ 割）	50代（ 割）	
30代（ 割）	60代（ 割）	

【職場の環境・整備について】

問6. 貴事業所や作業現場に女性専用トイレはありますか。（回答は1つ）

1.ある	3.その他（ ）
2.ない（男女共用トイレしかない）	

問7. 貴事業所のトイレについて、使用後の生理用ナプキン等を捨てるサニタリーボックスを設置していますか。（回答は1つ）

1.サニタリーボックスを設置している	3.設置していない
2.その他（ ）	

問8. 貴事業所の休憩室の整備状況を教えてください。（回答は1つ）

1.女性専用の休憩室がある→問8－1へ	3.その他（ ）→問8－1へ
2.男女共用の休憩室がある→問8－1へ	4.休憩室はない

問13-2. 生理休暇について従業員に周知をしていますか。(回答は1つ)

- | | | |
|------|-------|---------|
| 1.はい | 2.いいえ | 3.わからない |
|------|-------|---------|

問13-3. 生理休暇を取得する女性従業員はいますか。(回答は1つ)

- | | |
|-------|-----------|
| 1.いる | 3.対象者がいない |
| 2.いない | 4.把握していない |

問14. 生理に悩む従業員のため、今後やってみたいと考える支援内容があれば選択ください。
(複数回答可)

- | | |
|-------------------------------|---------------------------|
| 1.生理について理解を促進するための研修 | 12.フレックスタイム |
| 2.体調が悪い時の配慮、声掛け等 | 13.時間単位の休暇 |
| 3.生理に関する女性従業員との意見交換 | 14.生理休暇の周知や取得促進の声掛け |
| 4.女性専用の休憩室等、辛いときに休める場所の確保 | 15.生理休暇を、取りやすい他の名称に変更 |
| 5.体調不良時の作業の軽減 | 16.生理休暇の有給化 |
| 6.会議や作業時の休憩の声掛け | 17.生理用品の自動販売機をトイレに設置 |
| 7.トイレのない現場作業を避ける | 18.低用量ピル等の服薬支援、婦人科受診費用の補助 |
| 8.作業現場における女性専用トイレの設置 | 19.その他 () |
| 9.作業着の選択制(ズボンは白でなく濃い色を選択できる等) | 20.特にない |
| 10.保健師等の相談窓口の設置 | 21.何をしたいかわからない |
| 11.テレワーク | |

【その他】

問15. 女性の健康づくりに取り組むことによって、企業(事業所)にもメリットがあると思いますか。
(回答は1つ)

- | | | |
|-----------------|-------------|---------|
| 1.そう思う→問15-1へ | 3.あまりそう思わない | 5.わからない |
| 2.ややそう思う→問15-1へ | 4.そう思わない | |

《問15で「1.そう思う」「2.ややそう思う」とお答えの方におたずねします》

問15-1. 女性の健康づくりに取り組むことで、事業所にどのようなメリットがあると思いますか。
(複数回答可)

- | | |
|---------------------------------|---------------|
| 1.休業者・休業日数の減少 | 5.事業所のイメージアップ |
| 2.従業員のモチベーション・エンゲージメント(愛社精神)の向上 | 6.人材採用での効果 |
| 3.従業員の生産性の向上 | 7.その他 () |
| 4.離職の防止 | |

問16. 働く女性の職場における一番の健康課題が月経随伴症状(生理にまつわる症状)であることを知っていますか。

- | | |
|------|-------|
| 1.はい | 2.いいえ |
|------|-------|

問17. 月経前症候群(PMS)を知っていますか。※月経前症候群(PMS)とは、生理の前に現れるこころとからだの不調です。

- | | |
|------|-------|
| 1.はい | 2.いいえ |
|------|-------|

裏面の質問にもお答えください。

問18.他、生理等女性従業員の健康に関して困っていることや気になること、ご意見等があればご記入ください。(自由記載)

問19.女性従業員の健康づくりで、取り組んでいることや工夫していることがあればご記入ください。(自由記載)

問20.後日、追加で女性従業員の健康づくりについての聞き取りにご協力いただける方や、市と一緒に女性の健康づくりに取り組んでみたいという方は、連絡先をご記入ください。(自由記載)

貴事業所名		T E L	
所在地		代表アドレス	
担当者名			

ご協力ありがとうございました。



No.0000

女性社員様用 アンケート

ご協力のお願い(令和7年度 北九州市働く女性の健康づくり実態調査)

皆様には、日頃より北九州市政にご理解とご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

このたび北九州市では、女性の健康に配慮した職場環境の推進に対する経営者の方々の認識および女性社員における健康への関心やニーズを把握するために、市内の事業所の女性社員を対象にインターネットによる実態調査を実施することとなりました。

この実態調査は、市内民営事業所のうち従業員数が50人未満の事業所から無作為に抽出された500事業所に送付し、事業所の経営者を通じて、女性社員(各社3名)に調査へのご協力をお願いするものです。

ご回答いただいた内容は、統計的に処理を行い、個々の女性社員の方々や経営者の意見を参考に、女性にやさしい社会づくりを推進するための啓発資料(冊子)を制作いたします。

つきましては、調査の趣旨をご理解いただき、ぜひご協力いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。(インターネット回答、所要時間は15分程度です)

北九州市長 武内和久

教えてください、
自分のこと。



PMSがひどくても、これが当たり前だと思って、毎月我慢している。どんな症状で婦人科を受診していいか、わからない…。



生理休暇はあっても、使いづらい…。男性の上司に申請しにくい…。



生理の出血が多い時は、長時間の会議や打ち合わせでトイレに行けず、とても心配…。



低用量ピルで生理のつらさが軽くなると聞いたことがあるけど、効果や副作用などの正しい情報を知りたい。

あなたの意見が参考になります。

回答締切

2025 6.30 (月)

お問い合わせ

北九州市保健福祉局健康推進課
(担当: 橋本、久保)

電話: 093-582-2018
(受付時間: 平日午前10時から午後5時まで)

市ホームページ https://www.city.kitakyushu.lg.jp/contents/7200536_00001.html

回答はコチラから



スマートフォン、タブレット、パソコンからインターネットで回答する方へ

●スマートフォン、タブレットの場合

右の二次元バーコードからアクセスしてください。



●パソコンの場合

北九州市ホームページより、
 > 市政情報 > 計画・条例・選挙・人権 > 構想・計画 > 各種指針・計画 > 健康づくり・食育
 > 「令和7年度 北九州市働く女性の健康づくり実態調査」

女性 健康づくり 実態調査

検索

市ホームページ https://www.city.kitakyushu.lg.jp/contents/17200536_00001.html

- 1 女性社員様ご本人がお答えください。
- 2 表面の右上の番号(数字4桁) を一番初めに入力(必須)して回答してください。
 ※右上の番号は、重複回答を防ぐために無作為に振られた番号です。
 個人を特定する番号ではありません。
- 3 ご回答は、令和7年6月30日(月) 23時59分まで お願いいたします。
- 4 その他注意事項
 - ・通信にかかる費用は回答する女性社員様のご負担となります。
 - ・通信状況の良い環境で入力・回答してください。回答中の一時保存はできません。
 - ・最終ページの「送信する」ボタンを押すと回答が完了します。

回答開始画面

令和7年度 北九州市働く女性の健康づくり
 実態調査(働く女性版)

入力方法

自由回答 ☐ 全ての項目の回答を強制して、回答を開始してください

☒ 利用規約に同意する

☒ チェック

☒ 利用規約に同意する。強制

回答を編集中

☒ クリック

回答入力画面

令和7年度 北九州市働く女性の健康づくり実態調査(働く女性版)

1. 調査票番号

回答入力フォーム

調査票番号の入力

調査票右上の番号(数字4桁)を入力してください

※重複回答を防ぐために無作為に振られた番号です。個人を特定する番号ではありません。

次へ進む

回答完了画面

送信する

回答を送信しました。



ホームへ戻る

R7年度北九州市働く女性の健康づくり実態調査 調査項目(働く女性)						
管理 No	問 No	項 目	選択種別	電子申請 選択種別	選択肢 No	選 択 肢
基本情報						
1	1	あなたの年齢を教えてください。	択一	必須	1 2 3 4 5 6 7 8	19歳以下 20～24歳 25～29歳 30～34歳 35～39歳 40～44歳 45～49歳 50歳以上
2	2	主に従事する業務内容について、一番近いものはどれですか。 複数にまたがる場合は、主要なものを1つ選んでください。	択一	必須	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11	事務職 営業職 販売職 サービス職 保安職 生産工程 輸送・機械・運転 運搬・清掃・包装等 建設・採掘 管理職 その他()
3	3	職場の主な業種は次のどれですか。 複数にまたがる場合は、売上高等から主なものを1つ選んでください。	択一	必須	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12	建設業 卸売業、小売業 宿泊業、飲食サービス業 不動産業、物品賃貸業 教育、学習支援 その他サービス業 医療、福祉 金融業、保険業 運輸業、郵便業 情報通信業 製造業 その他()
4	4	職場のおおまかな女性従業員数を教えてください。	択一	必須	1 2 3 4 5	10人以下 11～20人 21～29人 30～49人 50人以上
職場の環境・設備について(トイレ、休憩室)						
5	5	職場に女性専用トイレはありますか。	択一	必須	1 2 3	ある ない(男女共用トイレしかない) その他()
6	6	休憩室の整備状況について教えてください。	択一	必須	1 2 3 4	女性専用の休憩室がある 男女共用の休憩室がある その他() 休憩室はない
7	6-1	⑥で④選択以外 休憩場所に、横になって休むことができるスペースはありますか。	択一	必須	1 2	はい いいえ
仕事上の生理に伴う困りごと						
8	7	生理前や生理中に感じる症状について教えてください。※複数回答可	複数	必須	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14	お腹の痛み 腰痛 胃もたれ、便秘、下痢など消化器症状 頭痛 眠気 肌荒れ、吹き出物等 胸の張り イライラ感 憂うつ 不安感 貧血 手足のむくみ その他() 特に症状はない
9	7-1	⑥で④選択以外 生理前・生理中の症状で影響が出る日数は合計で何日ぐらいありますか。	択一	必須	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10	1日以下 2日 3日 4日 5日 6日 7日 8日 9日 10日以上

管理 No	問 No	項 目	選択種別	電子申請 選択種別	選択肢 No	選 択 肢
		仕事中の生理に伴う困りごと				
10	7-2	⑧で④選択以外 生理前・生理中の症状で影響を受けているときの仕事の出来はどれくらいだと思いますか。 普段通りの仕事のパフォーマンスができている場合を「10点」、まったく仕事ができない場合を「0」として、0～10点で評価してください。	択一	必須	1	0点
					2	1点
					3	2点
					4	3点
					5	4点
					6	5点
					7	6点
					8	7点
					9	8点
					10	9点
					11	10点
		軽減するための対処法				
11	8	生理の症状を軽減するためにやっていることがあれば教えてください。※複数回答可 (※)低用量ピルとは低用量エストロゲン・プロゲステン配合薬であり、月経困難症の治療等に使用される薬です。処方には医師の診断や検査等が必要となります。	複数	必須	1	仕事中に休憩をとる
					2	仕事を休む
					3	仕事外の時間で十分な休養／睡眠をとる
					4	身体を温める
					5	痛み止めの薬を服用
					6	低用量ピル(※)等のホルモン製剤を服用
					7	漢方薬等その他の薬を服用
					8	その他()
					9	特に何もしない
12	9	生理周期を記録していますか。	択一	必須	1	はい
					2	いいえ
13	9-1	⑫で①選択 生理周期の記録を取る方法についておしえてください。※複数回答可	複数	必須	1	スマートフォンの専用アプリ(ルナルナ等)で記録
					2	スマートフォンのカレンダーやメモ機能で記録
					3	手帳、メモ帳など紙媒体に記録
					4	その他()
14	10	生理に関する情報のうち、知りたいと思うものを全て選択してください。 ※複数回答可 (※)フェムテックとは女性の健康課題や悩みをテクノロジーの力で解決する商品やサービスのことです。	複数	必須	1	生理中の体調変化や不調に関する医学的知識
					2	月経異常や月経に伴う疾患
					3	生理中に必要な日常の注意や工夫
					4	生理に関する医薬品の種類や使い方
					5	最新の生理用品やフェムテック(※)
					6	生理について困ったり、悩んだときの相談先
					7	婦人科のある市内の医療機関についての情報
					8	医療機関(婦人科)を受診した人の体験談
					9	その他()
					10	特にない
		医療的ケアの活用				
15	11	生理の症状について、婦人科等を受診したことはありますか。	択一	必須	1	受診している
					2	受診したことがある(現在は受診なし)
					3	受診したことがない
16	11-1	⑮で③選択 婦人科等を受診しない理由について教えてください。※複数回答可	複数	必須	1	受診する必要があるから(受診するほどの症状ではない)
					2	我慢すれば良いから
					3	恥ずかしいから
					4	市販薬の服用と大差ないと思うから
					5	今の症状が受診すべきレベルなのかわからないから
					6	内診等の検査方法に抵抗を感じるから
					7	男性医師に問診や内診などされるのは抵抗を感じるから
					8	妊娠したのではないかと周囲に思われることが嫌だから
					9	診察費等が高そうだと感じるから
					10	職場で休みが取れないから
					11	その他()
					12	特に理由はない
17	12	婦人科で処方される低用量ピルに関して知っていることを全て選択ください。※複数回答可	複数	任意	1	生理痛を軽減できる
					2	PMSを軽減できる
					3	子宮内膜症等の婦人科系疾患を治療できる
					4	生理不順が改善される
					5	月経過多(経血の量が多い)が改善される
					6	生理周期を変更できる
					7	肌荒れや吹き出物を改善する効果がある
					8	避妊を目的に使用されることがある
					9	飲む期間や時間が決められている
					10	副作用の可能性はある
					11	病院で処方される
					12	服用中には定期的な受診や検査等が必要になる
					13	その他()
18	13	婦人科で処方される低用量ピルに関して、知りたいことや気になることがあれば教えてください。※複数回答可	複数	必須	1	どのくらい効果があるのかを知りたい
					2	副作用が心配
					3	服用中に太らないか心配
					4	処方されるための診察内容を知りたい
					5	服用していることを周囲に知られたくない
					6	処方してもらうために受診するのが面倒
					7	薬の値段を知りたい
					8	使用している人の体験談を知りたい
					9	その他()
					10	特に気になることはない

管理 No	問 No	項 目	選択種別	電子申請 選択種別	選択肢 No	選 択 肢
職場の理解及び制度(支援内容)						
19	14	生理の辛さや悩みについて、上司(男性)は理解していると思いますか。	択一	必須	1	十分理解している
					2	理解している
					3	あまり理解していない
					4	理解していない
					5	上司(男性)はいない
20	15	生理の辛さや悩みについて、上司(女性)は理解していると思いますか。	択一	必須	1	十分理解している
					2	理解している
					3	あまり理解していない
					4	理解していない
					5	上司(女性)はいない
21	16	生理の辛さや悩みについて、同僚(男性)は理解していると思いますか。	択一	必須	1	十分理解している
					2	理解している
					3	あまり理解していない
					4	理解していない
					5	同僚(男性)はいない
22	17	生理の辛さや悩みについて、同僚(女性)は理解していると思いますか。	択一	必須	1	十分理解している
					2	理解している
					3	あまり理解していない
					4	理解していない
					5	同僚(女性)はいない
23	18	生理の症状に対処するための、職場にある制度や支援策などを選択してください。※複数回答可	複数	必須	1	生理について理解を促進するための研修
					2	女性専用の休憩室等、辛いときに休める場所の確保
					3	作業着の選択制(ズボンは白でなく濃い色を選択できる等)
					4	保健師等の相談窓口
					5	テレワーク
					6	フレックスタイム
					7	時間単位の休暇
					8	生理休暇
					9	生理用品の自動販売機
					10	低用量ピル等の服薬支援、婦人科受診費用の補助
					11	その他()
					12	わからない
					13	制度はない
24	18-1	㊸で㊹、㊺選択以外 利用したことがある、生理の症状に対処するための職場の制度や支援策について選択ください。※複数回答可	複数	必須	1	生理について理解を促進するための研修
					2	女性専用の休憩室等、辛いときに休める場所の確保
					3	作業着の選択制(ズボンは白でなく濃い色を選択できる等)
					4	保健師等の相談窓口
					5	テレワーク
					6	フレックスタイム
					7	時間単位の休暇
					8	生理休暇
					9	生理用品の自動販売機
					10	低用量ピル等の服薬支援、婦人科受診費用の補助
					11	その他()
					12	利用したことはない
25	19	職場に求める制度や支援策などがあれば選択ください。※複数回答可	複数	必須	1	生理について理解を促進するための研修
					2	女性専用の休憩室等、辛いときに休める場所の確保
					3	作業着の選択制(ズボンは白でなく濃い色を選択できる等)
					4	保健師等の相談窓口の設置
					5	テレワーク
					6	フレックスタイム
					7	時間単位の休暇
					8	生理休暇を取りやすくする
					9	生理用品の自動販売機をトイレに設置
					10	低用量ピル等の服薬支援、婦人科受診費用の補助
					11	婦人科検診の費用の助成
					12	その他()
					13	特に必要な支援はない
26	20	【職場環境・業務内容】に関して、今後職場に求める配慮があれば選択ください。 ※複数回答可	複数	必須	1	生理の症状に対処するための職場の制度や支援策について、もっと周知してほしい
					2	長時間の会議をしないでほしい
					3	長時間の作業中でも、現場を離れられる機会を設けてほしい
					4	寒い場所での作業を減らしてほしい
					5	トイレのない作業現場は避けてほしい
					6	移動・外出のある業務を避けてほしい
					7	体調が悪いときに休憩を取れるようにしてほしい
					8	体調が悪いとき等、周りで仕事をカバーできるような職場になってほしい
					9	トイレや休憩室に(私物、または共用の)生理用品を配置できるようにしてほしい
					10	婦人科を受診したいときに休みを取りやすくしてほしい
					11	その他()
					12	特に求める配慮はない

管理 No	問 No	項 目	選択種別	電子申請 選択種別	選択肢 No	選 択 肢
27	21	【意識面】に関して、今後職場に求める配慮があれば選択ください。※複数回答可	複数	必須	1	生理の症状や辛さが人によって違うことを理解してほしい
					2	管理職にもっと女性の健康や生理について知ってほしい
					3	男性職員にもっと女性の健康や生理について知ってほしい
					4	女性職員にもっと女性の健康や生理について知ってほしい
					5	体調が悪いとき等、周りの同僚や上司に相談しやすい雰囲気になってほしい
					6	生理についてオープンに話せる雰囲気になってほしい
					7	生理の問題について、管理職と女性従業員が意見交換する場を設けてほしい
					8	体調が悪そうな人に声掛けをしてほしい
					9	生理の症状がつらいときはそっとしておいてほしい
					10	トイレに頻繁に行くことをそっと見守ってほしい
					11	生理によって休暇や休憩を取っていても、怠けていると思わないでほしい
					12	その他()
					13	特に求める配慮はない
28	22	どうすれば生理休暇が取りやすくなると思いますか。※複数回答可	複数	必須	1	生理休暇の有給化
					2	生理休暇を時間単位で取得できるようにする
					3	生理休暇の名称変更
					4	生理休暇制度の周知
					5	取得促進の声掛け(雰囲気づくり)
					6	生理休暇の申請窓口となる女性担当者を設置
					7	前日・当日の急な申請でも生理休暇を利用できるようにする
					8	その他()
					9	生理休暇を取りたいと思ったことがない
					10	生理休暇は必要ない
					11	わからない
29	23	女性の健康に配慮した取組みを企業が実施する場合、その企業に対する印象は良くなると思いますか。	択一	必須	1	とても良くなると思う
					2	良くなると思う
					3	あまり良くならないと思う
					4	良くならないと思う
					5	わからない
その他						
		業務内容特有の悩みごとのリストを作りたいので、問24については積極的にご回答をお願いします (←設問前に文章追加)				
30	24	あなたの現在の業務内容特有の生理に関する悩みごとがあればご記入ください。※自由記載 例)工場勤務でライン作業中、生理の症状が辛い時も立ちっぱなしで作業をしなくてはならず困っている 等	自由記入	任意		
31	25	生理に関して、言われて嫌だったこと、不要な配慮など、思うことがあれば自由にご記載ください。※自由記載	自由記入	任意		
32	26	体験談のインタビューにご協力いただける方は、協力可能なものを選択してください。※複数回答可 ※インタビュー内容は、啓発資料(リーフレット等)への掲載等で活用させていただきます。【匿名、年代のみ表記】	複数	任意	1	医療機関(婦人科)を受診した感想
					2	ビルを使用した感想
33	26-1	㊦で①・②選択者 個別の聞き取りにご協力いただける場合は、連絡先をご記入ください。※自由記載	自由記入	任意	1	氏名
					2	TEL
					3	メールアドレス